

第4学年国語科学習指導案

日時 平成20年11月21日(金) 5校時
児童 4年3組男17名 女19名 計36名
指導者 後澤大世

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」(中谷 日出)「四年三組から発信します」
(光村図書 4年下)

2 単元について

(1) 指導事項について

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の複合単元である。「読むこと」における主たる指導事項は、「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」と「オ 目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」である。また、「書くこと」における主たる指導事項は、「イ 書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。」と「ウ 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えること。」である

(2) 教材について

本単元は情報活用単元である。説明文「アップとルーズで伝える」の内容を踏まえて、自らが情報の発信者となって、情報の収集、選択、発信を体験させていくといった学習を進めていく。

第一教材「アップとルーズで伝える」は、大きく三つのまとまりで構成されている。①②段落の「アップ」と「ルーズ」の特徴を③段落でまとめている。さらに、④⑤段落の二つそれぞれの長所と短所を⑥段落でまとめている。このように、二つの対比関係を受けてまとめていくといった分かりやすい構成となっている。

第二教材「四年三組から発信します」では、情報の収集から発信までの活動を行う。特に、学級のよさについて集めた様々な情報の中から、相手や目的に合うものを選び、さらに、分かりやすい文章になるように構成を考えて書くことが学習の重点となる。

(3) 児童について

①学習意欲について

説明文の学習に対して苦手意識をもつ児童が多い。これは、説明文を読むことが目的になってしまい、必要感をもって説明文を読んでいけるような手立てが不足していたためと考える。

②読むことについて

説明文の学習では、『『かむ』ことの力』の学習において、意味段落を知りまとまりの中心や文章全体の構成をとらえる学習をしてきた。段落意識をもって、自力で段落の中心となる語や文をとらえる力は身に付いてきているが、段落相互の関係からそれらの中心をつなげたり比べたりする力はまだ十分とはいえない。

③読む活動について

児童はこれまでに、教師が提示した視点に沿ってサイドラインを引きながら、段落の中心をとらえる活動を行ってきた。その結果、重要語句(キーワード)に着目して自力で内容を読み取ろうとする力が身に付いてきた。しかし、一人一人が課題意識をもって様々な視点から読むといった学習経験は不足している。読む言語活動を多様化し、必要に応じて様々な視点から自力で読む学習を展開する必要がある。

④書く活動について

説明文の学習においては、学習のまとめとして分かったことや考えたことを書きまとめることを通して、その時間の学びや自分の考えを再構築する活動を行ってきた。

(4) 指導について

①学習意欲について

単元のゴールに四年三組の紹介パンフレット作りという表現活動を設定し、「アップとルーズで伝える」の学習で付けた力を活用できるような学習を展開する。児童が必要感をもって読めるように、本教材を紹介パンフレット作りのための手引き教材として位置付ける。

②読むことについて

本単元で重点的に身に付けさせる力を「必要に応じて細かい点に注意して読む力」と「段落相互の関係を考える力」ととらえ、この二点を軸にして学習を進めていく。

③読む活動について

「アップとルーズで伝える」の内容が、そのまま実際の取材活動や紹介パンフレット作りにつながるような読みの視点を段階的に設定する。

④書く活動について

どの学習場面においてもまとめとして分かったことや考えたことを書きまとめる活動を位置付け、児童一人一人が学んだことを再認識させる。

3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

・「アップとルーズで伝える」で学習したことを紹介パンフレットに生かして分かりやすく伝えようとしている。

(2) 読む能力

・それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。(読イ)
 ・自分の紹介パンフレット作りに生かすために写真と対応した部分に注意して読み、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。(読オ)

(3) 書く能力

・学級のよさを伝える目的で紹介パンフレットを書くことができる。(書ア)
 ・学級の様子について必要な事柄を集め選択することができる。(書イ)
 ・学級のどんなよさについて紹介するのかを明確にしなが、段落相互の関係を考えて書くことができる。(書ウ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

・文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解することができる。(言オ【イ】)

4 指導計画及び評価規準 (「読むこと」7時間、「書くこと」10時間 計17時間)

次	時	学習内容	評価規準
一	1	・紹介パンフレットの例や写真をもとにアップとルーズについて考え、単元の学習の見通しをもつ。	【関】紹介パンフレット作りに興味をもち、活動の見通しをもっている。
	2	・四年三組紹介パンフレットの作成計画を立てる。	【書】紹介パンフレット作りの目的を押さえて活動のテーマを決めている。(ア)
	3	・自分のテーマに合わせて写真を集める。	【書】学級のよさについて自分の伝えたいテーマを決め、必要な写真を集めている。(イ)
	4	・「アップとルーズで伝える」を通読し、単元の学習計画を立てる。	【読】「アップとルーズで伝える」を読む必要性を押さえている。(オ)
二	5	・「アップとルーズで伝える」を読み、文章全体の構成を概観する。	【読】文章全体の構成を大まかに把握し、読みの視点をつかんでいる。(イ) (言オ【イ】)
	6	・①②③段落を読み、キャプションの作り方を知る。	【読】自分の紹介パンフレット作りに生かすために写真と対応した部分に注意して読み、アップとルーズの特徴についてまとめている。(オ)
	7 本時	・④⑤⑥段落を読み、アップとルーズの長所と短所に応じた使い分け方を考える。	
	8	・受け手と送り手の立場を考えた取材の重要性を考え、自分の取材活動へ広げる。	
	9	・筆者の説明の仕方の工夫について、別の段落構成と比較しながら考える。	【読】二つの段落をまとめる段落があることで、分かりやすい説明になっていることに気付いている。(イ) (言オ【イ】)
三	10	・四年三組紹介パンフレットの作成手順を確認する。	【書】紹介パンフレット作りの活動の見通しをもっている。(ア)
	11	・自分の伝えたいテーマに合わせて、写真にキャプションを入れる。	【書】自分の伝えたいこと(中心)を短く書き表している。(イ)
	12 13	・選んだ写真をもとに、書く事柄を集める。	【書】自分の伝えたいテーマに合わせて、必要な事柄を集めている。(イ)
	14	・集めた中から、目的に合わせて書く内容を選択する。	【書】取材した事柄の中から、目的に合わせて、必要な事柄を適切に選択している。(イ)
	15	・目的に応じた文章になるように、段落の構成を考えて文章を書く。	【書】自分の伝えたいこと(中心)を分かりやすく説明するために、二つの段落をまとめる段落の必要性を考え書いている。(オ) (言オ【イ】)
	16	・パンフレットのレイアウトを工夫し、紹介パンフレットを仕上げる。	
四	17	・作品を友だちと交流し、単元を通しての自分の活動を振り返る。	【関】紹介パンフレット作りを通して、自分が気をつけてきたことや新たにできるようになったことを実感している。

5 本時の指導

(1) 目標

読む能力(オ)

・接続語や指示語、文末表現に着目してアップとルーズの長所と短所を読み取り、目的に応じたアップとルーズの使い分けについて考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	教師の支援(○主発問)
見通す 5分	<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <p>(1) アップとルーズの写真を見て、それぞれ何が伝えられるのかについて考える。</p> <p>(2) 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> アップとルーズをどのように使い分けるとよいのだろう。 </div>	<p>・実際に取材活動しているアップとルーズの写真を提示し、使い分けの基準が分からないことを実感させる。</p> <p>・2のまとめ(④⑤⑥段落)から読み取っていくことを確認し、使い分け方を知るためにはアップとルーズの違いを読み取る必要があることを押さえる。</p>
深める 32分	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 形式段落④⑤⑥段落を音読する。</p> <p>(2) アップとルーズの違いを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥段落からアップとルーズの違いを見つけるための着目する視点を押さえる。 ・④⑤段落からアップとルーズの違いを見つける。 ・アップとルーズの違いを出し合い、二つの相互関係について話し合う。 <p>(3) アップとルーズの使い分け方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に提示したアップとルーズの写真の使い分けについて話し合う。 	<p>【読む活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの違いに観点をあてて読むために、アップとルーズの違いとそれらをまとめて説明している段落はどこかに気を付けて読ませる。 <p>○アップとルーズの違いをまとめて説明している段落はどこでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このように」から、⑥段落が④⑤段落をまとめていることを確認し、アップとルーズの「伝えられること」と「伝えられないこと」が二つの違いの視点であることを押さえさせたい。 <p>○アップとルーズの「分かること」と「分からないこと」を見つけて線を引きましょう。</p> <p>【読む活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの違いを自力でとらえさせるために、文末表現に着目させて、アップとルーズそれぞれの「分かること」には直線を、「分からないこと」には波線を引かせる。 <p>○アップとルーズの「伝えられること」と「伝えられないこと」にはどんな関係がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真と照応させながらアップとルーズの長所と短所を確認し、互いの長所と短所が反対であることに気付かせていきたい。 <p>○このアップ(ルーズ)の写真はどんなことを伝えたいときに使えばよいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで相談させた後全体で話し合わせる。アップの長所とルーズの長所に合わせて使い分けていくことの効果を十分に感じ取らせたい。
まとめる 8分	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 学習課題について分かったことをまとめる。</p> <p>(2) 学習の振り返りをする。</p> <p>5 次時の学習内容を知る。</p>	<p>【書く活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で獲得した読みや新たな考えを再認識させるために、「アップ」「ルーズ」のそれぞれの長所にふれさせながら、使い分け方についての自分の考えを書かせたい。 <p>・学習計画シートに自分の振り返りを記入させる。</p>

(3) 具体の評価規準

観点	十分に満足できる	満足できる	努力を要する児童への手立て
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズの長所に加え、相互の反対の立場にもふれながら、目的に応じた使い分け方について具体的に書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップとルーズにはそれぞれ長所(短所)があるために、目的に応じて使い分ける必要があることについて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を見せ、アップで分かることとルーズで分かることを順に確認して書かせるようにする。